

## 2023年度 外国語コンテスト フランス語部門講評

経営学部 下村 武

2023年度のフランス語部門の外国語コンテストは7名の申し込みがあり、12月21日午前に5名の参加者によって行われました。昨年度は残念ながら参加者ゼロということでフランス語部門は開催されませんでした。今年度は無事に開催できたことで担当教員一同胸を撫で下ろしているところです。

今年度の課題はふたつの詩の中からひとつをえらび、朗読するというものでした。ひとつは19世紀を代表するフランスの作家ヴィクトル・ユゴーの詩、もうひとつは20世紀初頭に活躍したギヨーム・アポリネールの詩で、どちらもフランスを代表する詩人の詩の朗読が今年の課題になりました。フランス語部門の結果は、1位は経営学部1年の三輪くん、2位は国コミ2年の市川さん、3位は法2年の松原さんにきました。2位の市川さんは英語部門と合わせて、ダブルの受賞となりました。3位までに入った学生さんたちだけでなく、参加してくれた学生さんはいずれも練習を重ねた成果だけでなく、日頃の勉強の成果も今日の結果につながったと思います。審査に加わっていただいた中尾先生もおっしゃっておられましたが、例年に比べて非常にレベルの高いコンテストの結果になりました。

また外国語コンテストだけでなく、毎年春と秋に行われるフランス語検定では、名古屋キャンパスと豊橋キャンパスの学生で毎回団体受験を行なっています。今季、2023年秋季の試験では合わせて21名の学生が受験し、それぞれの級で14名の学生が合格することができました。こうして少しずつ愛知大学でのフランス語学習熱も高まってきていて、フランスのオルレアン大学との交換留学やフランスの大学での語学研修にも多くの学生が参加してくれることを、われわれ担当教員が切に願っていると同時に、教員も一緒に取り組んでいきたいと考えています

最後になりましたが、今回参加してくれた学生さんたちどうもお疲れさまでした。今回参加を見送った学生さんも次回の参加を待っています。